

やまびこだより



暦では秋に入りますが、まだまだ残暑が残る日が続きます。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染防止にも配慮しつつ、引き続き熱中症にもお気をつけください。

今年は、様々な行事をやむなく中止してきましたが、出来る範囲で利用者様に楽しみを提供したいと考え、バスドライブを行っています。

下の写真は2病棟の利用者様で、北九州空港に行った時の様子です。周囲に人がいないのを確認できたので、ベンチに座り、海風を感じながら飛行機や船舶の行き来を眺めることができ、楽しい思い出ができました。他の利用者様も順次行う予定にしています。



ご提供ありがとうございました



キリンバレッジ様からジュースのご提供がありました。利用者様に人気のストロベリーです。そのまま飲むのもいいですが、ババロアなどに加工したり、ヨーグルトに混ぜたりとアレンジも豊かで、どんなデザートになるか、期待が膨らむところです。栄養課の職員に腕を振ってもらい、利用者様の喜ぶ笑顔を楽しみに待ちたいと思います。あらためて御礼申し上げます。

秋の七草

秋の七草は「萩(ハギ)」「尾花(オバナ)」「葛(クズ)」「撫子(ナデシコ)」「女郎花(オミナエシ)」「藤袴(フジバカマ)」「桔梗(キキョウ)」の7種類になります。旧暦の秋は7~9月ごろですので、この時期に咲く花を昔の人は秋の七草と名付けて愛でていたのです。

現代の暦とは時期が若干ずれていますが、秋の訪れを知らせる花として万葉集の歌にも収められています。

また、食べるのではなく生薬としても利用されているのが秋の七草の特徴です。葛から作る葛根湯は風邪薬としてよく使われる漢方の材料となり、萩や桔梗の根っこは咳を止める効果があるとされていて冬場などに活躍する生薬です。

目にするのが少なくなった秋の七草、見つけた幸せも感じられる風物詩ですね。(引用:「見て楽しむ秋の七草」日比谷花壇)



学園の花

学園では利用者様との作業活動の一つとして、植物を育てています。ヒマワリやニチニチソウが元気よく花を咲かせています。

アサガオは、2年前から収穫した種をまいて育てています。続いていく命を大切に、これからも利用者様と共に、植物の成長を見守っていきたいと思います。

お知らせ

前回もお知らせいたしましたが、毎年10月に予定をしております「モニタリングおよび計画の更新」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月と同様に、郵送対応とさせていただきます。

本来ならば、ご家族様と顔を合わせて、学園での利用者様の様子をご紹介しながら、ご要望などを改めてお聞きしたいところではありますが、ご理解とご協力を賜りたいと思います。